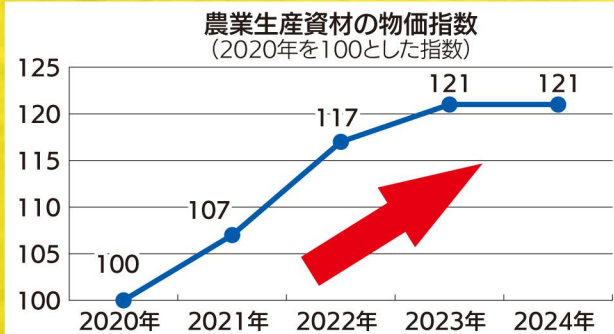


近年、資材等の価格が大きく上がって農家さんは大変！



(資料：農林水産省「農業物価指数」)

近年、資材（肥料・農薬、燃料代など）の経費が2割も値上がり！
でも、それを十分に販売価格に上乗せできず、農家さんの所得は大きく減少！

5

私たちの大切な未来のために、 長野県と日本の農業を応援しよう！



農業は、私たちの大切な食べ物を安定的に生産するとともに、雨水を土に蓄えて、きれいな水をゆっくりと川に送る働きや土砂崩れや洪水の防止、豊かな自然環境の維持、美しい農村の景観の形成、伝統文化の継承など、多くの価値を生み出しています。そして、これらの機能は、私たちの生活の質を高め、安全で安心な暮らしを支えています。

私たちが毎日当たり前のように口にする食べ物。でも、私たちの食べ物は、海外からの輸入に頼る部分が多く、もし、世界で何か大きな問題が起されば、私たちの食卓から食べ物が消えてしまうかもしれません。

では、どうすれば、誰もが、いつでも、安心して食料を手に入れることができる状態（食料安全保障）を作ることができるのでしょうか？

実は、私たち一人ひとりの意識（考えや気持ち）と行動がとても大切なんです。

例えば、お店で農畜産物を買う時に、「農家の再生産が可能な価格」を意識して農畜産物を購入すること。これは、農家さんが農業で生活を営み、継続して食べ物を作り続けられるように、必要な経費を賄える適正な価格で農畜産物を購入する、という意味です。

近年、肥料や農薬、農機具の燃料代など、多くの資材の価格が大きく値上がりする中、一部の品目を除き、増加した費用を十分に販売価格に上乗せすることができず、農家さんの所得（利益）が減っていく傾向にあります。

安さばかりを追求してしまうと、せっかく、品質の高い、おいしい食べ物を作ってくれているのに、農家さんの経営が厳しくなり、農業を続けることが難しくなってしまいます。

農家さんが安心して農業を続けられるように、そして私たちの食卓が、ずっと豊かであるように、食料安全保障について知り、日々の買い物で、長野県と日本の農家さんを応援する意識を持つことが、今、私たちにできる大切な一歩ではないでしょうか。



発行：（一社）長野県農業会議

〒380-0826 長野市南長野北石堂町 1177-3
TEL：026-217-0291 FAX：026-219-2953
Email：24nousei@nca.or.jp

HPはこちら→



みなさんで考えよう！

私たちの「食」の 未来を どう守る？



1

みなさんに、 すごく大事な話があります。

それは、私たちの毎日のごはんや、これからの未来の食べ物を守る「食料安全保障」のことです。「食料安全保障」って聞くと、ちょっと難しい言葉に聞こえるかもしれませんが、「誰もが、いつでも、安心して食料を手に入れることができる状態」のことを言います。決して他人事ではありませんよね。

世界では、戦争が起きたり、異常な天気で大雨や日照りが続いたりして、食べ物が手に入りにくくなっています。日本は、食べ物の6割以上を海外から買っているから、この問題から目をそらすわけにはいかないんです。では、どうしたらいいのでしょうか？

まずは、私たちが食べる食べ物を、できる限り日本国内で生産することが大切です。もし、世界で何か大きな問題が起きたとき、食べ物が日本に入らなくなったら困りますよね。そうならないために、食べ物に関心を持ち、今のうちから準備しておくことが、とっても大切なことです。

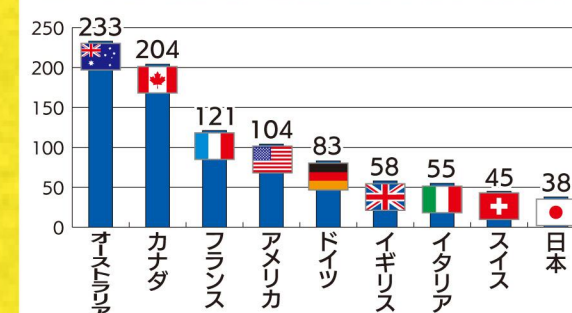
日本の食べ物、
どれだけ国内で作ってる？

6割以上
海外から



食料自給率（国内の食料全体の供給に対する国内生産の割合）は、
カロリーベースで38%です。
(資料：農林水産省「食料需給表」)(2021年)

国内でどれだけ食べ物を作れているかの割合(%)



(資料：FAO等を基に農林水産省の試算(海外、2021年))

2

長野県の農業ってすごい！ 食を支える豊かな気候と大地

長野県は、豊かな自然に恵まれ、昔から農業がとて盛んな地域です。みなさんが毎日食べているご飯や野菜、果物も、長野県で作られたものがたくさんあることをご存じでしたか？

長野県の農業は、農家さんの頑張りで、私たち県民の食べ物をしっかりと守ってくれているんです。

「食料自給率から見た長野県農業の力」

食料自給率っていうのは、その地域でどれくらいの食料を自分で作れているかを示す数字のことです。

例えば、長野県に必要な食料の量を 100 とすると、そのうち何パーセントを長野県で作っているかを表します。長野県の食料自給率は、令和4年度 53%で、これは、私たちが食べる



ものの半分以上を県内でまかなえるという数字なんです。全国平均が 38%ですから、長野県の農業は、かなり頑張っていますよね。

作物の種類別でも、お米の生産量が全国で 12 位*、野菜では、レタス、セルリー、えのきたけ、ぶなしめじが全国 1 位**、果物では、りんご、ぶどうが全国 2 位**など、トップクラスの品目がたくさんあるんです。

(*は令和6年産主食用米 **は令和5年産)

長野県の農業は、私たちの食卓を豊かにし、食料の安定供給に大きく貢献していることがお分かりいただけましたか。

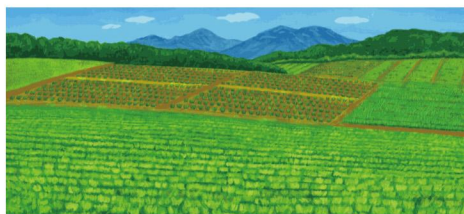
もし、災害などで他の地域からの食料が届かなくなっても、長野県内で一定の食料を自給できる環境があることは、私たちが安心して暮らす上でとても大切なことですよね。

3

農業委員会は、地域の農業を守る「縁の下」の力持ち！

農業委員会は、みなさんの市町村の役場の中にある、地域の農業を支える大切な組織で、地域の農家などの中から選ばれた農業委員、農地利用最適化推進委員という2種類の委員さんが協力しながら活動しています。その主な役割は3つあります。

1つ目は、日本の食料を生産する田畑（農地）を守ることです。法律に基づき、田畑がきちんと農業に使われているかをチェックしたり、田畑が荒れないように注意したり、使われなくなった田畑をもう一度使えるようにしたりします。



2つ目は、新しく農業を始める人を応援することです。農業を始めたい希望を持つ、県内や県外の人の相談に乗ったり、田畑を紹介したりして、地域で農業をしたい人を増やします。

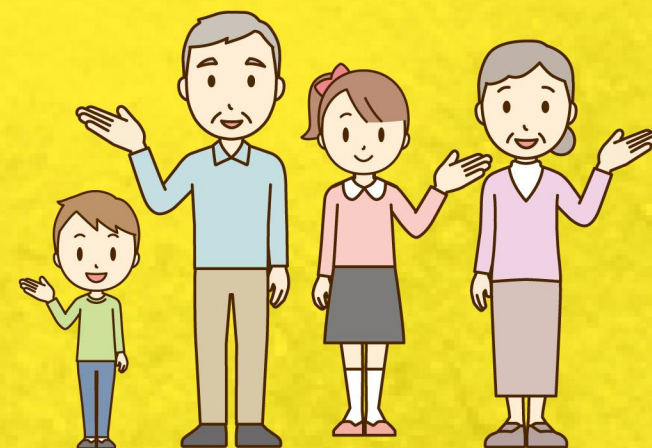


3つ目は、地域の農業が抱える課題を解決するための働きかけをすることです。たとえば、人手不足の解消や農家経営の安定、天候が原因となる災害への対応といった問題に対し、現場の農家さんの声を、国・県や政治家の人たちに伝え、農業や農村がもっと良くなるように働きかけています。

このように、農業委員会は、私たちの食べ物を作る大切な田畑を守り、農家さんが安心して農業を営んでいけるよう、日々活動している地域農業の「縁の下」の力持ちなのです。

このように、農業委員会は、私たちの食べ物を作る大切な田畑を守り、農家さんが安心して農業を営んでいけるよう、日々活動している地域農業の「縁の下」の力持ちなのです。

私たちにできること



明日のごはんを守るための一歩

4

毎日の「選択」から始めよう

私たち一人ひとは、いつでも、安心して食料を手に入れること（食料安全保障）を実現していくために何ができるでしょうか？それは、毎日の「買い物の仕方」や「食べ方」を変えることから始まります。つまり、「考えや気持ち（意識）」と「行動」を変えるってことです。

「地元や国産のものを選ぶ」

自分の住んでいる地域で作られた農産物・お肉・牛乳・卵などを積極的に選んでみましょう。地元や国産の食べ物を選ぶことは、農業を盛んにし、長野県と日本の農家さんを応援することにつながります。そして、地域の旬のものを食べることは、新鮮でおいしいだけでなく、遠くから運んでくるエネルギーを減らせます。近所のスーパー、道の駅や直売所で、「長野県産」、「国産」のものを探してみてください。



地元や国産品を選ぼう！

「食べ物を無駄にしない」

食べ物を捨てること（食品ロス）は、食料安全保障にとって大きな問題です。買いきらない、食材を全部使い切る、食べ残さない。食べ物を大切にすることは、一生懸命作ってくれた人への礼儀であり、未来の食卓を守るための最初の一歩です。



「農業について学ぶ・体験する」

農業に関する情報を集めたり、地域の農家さんから直接話を聞いたり、実際に農作業を体験することは、農業がどのように営まれているのか、どんな苦労があるのかを知る貴重な機会です。こうした学びは、食べ物への感謝の気持ちを育み、長野県と日本の農業を応援する意識を高めてくれます。農業や農村への理解を深めることが、私たちの「食」の未来を守る大きな力となるでしょう。

